

平成30年度第2回東郷町地域公共交通会議 議事録

- 1 日時
平成30年10月24日（水）午前10時から
- 2 場所
東郷町役場2階 大会議室
- 3 出席委員
18名（欠席2名）
- 4 町側
企画部長、福祉部長
- 5 事務局
生活部長、くらし協働課長、係長、主事
- 6 傍聴者
2名
- 7 会議支援
(株)国際開発コンサルタント
- 8 会議内容
議題
 - (1) 東郷町巡回バス路線再編の基本方針（案）について
 - (2) 東郷町巡回バス路線再編に係る町民アンケート（案）について
 - (3) その他
- 9 会議記録
別添のとおり。

【事務局】

ただいまから平成30年度第2回東郷町地域公共交通会議を開催させていただきます。
よろしくお願いいたします。
それでは、次第に沿って進めさせていただきます。
会長から挨拶をお願いいたします。

【会長】

先日、ららぽーとが名古屋の港区でオープンし、とても渋滞になった。名古屋高速の本線上まで渋滞が延伸して、場合によってはそこで大きな事故が起きないか心配していた。結果として本線上まで渋滞が発生したが、事故等はなかった。そういう意味では、大きな混乱を招くことがないように、前もって対応していただいたのだと思う。そして、東郷町のららぽーとの開設に合わせての交通網形成計画では、じゅんかい君、あるいは幹線バスの再編を行っていくという計画で、皆さんに、基本方針をご議論いただく。これに従って、これから路線、じゅんかい君の中身を検討していくことで、大変重要な材料になるので、忌憚のないご意見いただければと思う。また、再編にかかる町民アンケート、やはり住民の方々の声を聞くことが大変大事になってくる。この点に関して、特に住民の方々から、住民としての視点でご意見いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。
それでは、ここからは会長に議題の進行をお願いいたします。

【会長】

それでは、議題(1)東郷町巡回バス路線再編の基本方針(案)について御説明をおねがいます。

(議題(1)東郷町巡回バス路線再編の基本方針(案)について事務局より説明)

【会長】

実態、それから整備計画、関連計画等々を踏まえて、巡回バスの再編方針ということで、今回、議案とする項目として挙げている。これに対しまして、ご質問等いかがでしょうか。

【委員】

今回、町民アンケートをとるということだが、バス利用者以外の町民のアンケートもとるのか聞きたい。

【事務局】

町民全体から 4,000 名を抽出し、回答いただく予定。

【委員】

赤池に送迎の車が非常に多いということを皆さん承知してこの会議を進めておられるかどうかということも、1つ確認したい。高齢者が圧倒的に多くなり、免許を返納したいが、返納したら生活に困る。そういう声を盛んに聞いている。やはり公共交通というのは、そういう免許を返納した方にも安心して免許を返納してください、十分皆さんの足は確保できますというものを示しただけならば、交通安全等様々な面で貢献できるかと思う。その件についても、また検討いただければと思う。

【事務局】

今おっしゃられた免許返納に対して利用できる公共交通を目指している。これが現在、東郷セントラル地区の開発の中でも掲げている、コンパクトシティの考え方や免許を返納した後の生活交通の確保というのは、現在、交通網形成計画の中で行っているところである。

【会長】

今の巡回バスに対してご不満をお持ちで、なかなか乗れない方もいると思う。望まれるレベルが高すぎるかもしれないが、あるいは、実はじゅんかい君のことを知らなくて乗っていない方も結構いるかもしれない。そういう意味では、交通網形成計画にも書いてある促進活動を、もっとやっていかないといけない。

一方で、下から2番目に書いてあるが、利用の多いODには現状通り対応できるよう留意し、利用の少ないバス停・エリアについては、より効率的な運行のためデマンド交通等と書いてある。すなわち多くの方が利用されているところはより今より効率化し、残念ながら利用がしづらくなったところについては、違う公共交通を取り入れていきましょう。免許返納、あるいは現在、公共交通を利用できていないことに対するの対応と考えられているかもしれない。

ただ、車と比べたら、どの公共交通も勝てない。10分間隔のバスでさえ車よりも不便である。車は乗りたいと思ったとき、その瞬間に乗れるので、それはもう我慢していただけるかどうか。その方々のニーズに合わせる公共交通は莫大なお金がかかるので、違うアプローチが必要だろうと思う。であるから、住民と共にという姿勢がないとなかなか難しいことである。一方的にもっと便利な公共交通を考えると、便利さはとてつもなく便利なものが望まれてしまう。そういうアプローチもこれから考えていただくといいかと思う。

【委員】

やはり赤池まで車で送迎する人が非常に多いという話はあるが、資料4のセントラル地

区を整備し、集約型都市構造を実現した場合、このじゅんかい君が回るエリアと、それからもう1つは民間事業者のバスが運行しているイメージが描いてある。それを見ると、じゅんかい君のほうは、赤池方面へはそこまでは伸びてない。要するに先々、アンケートの結果によって、要望多ければ、赤池までじゅんかい君を伸ばしていくようなことがあるかどうかを聞きたい。

【事務局】

町長も、赤池方面への発言をしているので、アンケートの中でも赤池駅に対する考え方、どんな手段で行きたいかということも含めて、聞いていきたい。現在、赤池には複数の公共交通機関も乗り入れているので、その中での巡回バスがどういった位置付けで考えられるのか。また、渋滞問題も大きいと思うので、各方面への影響など考慮しながら考える必要がある。

【委員】

名鉄バスと比べて、じゅんかい君のほうが、ステップの高さやスピード、運賃から考えてみると、高齢者が乗りやすい。高齢者に配慮したという意味では、逆に少し時間がかかるかもしれないが、高齢者の人たちも利用しやすいように赤池まで伸ばしてもらえれば一番ありがたいと思う。

【会長】

皆様のご意見、あるいはアンケートの結果を踏まえながら皆さんと共に検討していくということになる。一応事務局案としては、4番目見ていただきますと、現段階で、町外の拠点施設や鉄道駅との連携については路線バスによるネットワーク形成を前提とし、と書いてある。前提としては路線バスでつないでもらい、もっと言うと、今現在15分間隔で赤池とつながっていて、このサービス提供でつないでもらいましょうということ。そして、バスターミナルにおいてじゅんかい君と乗り継ぎ機能を充実させ、町外との施設あるいは鉄道駅へ回すっていうイメージを考えている。

このイメージで見ると、まずはセントラルの拠点に来る、そして拠点から駅や病院などに行ける、何となくそういう絵を考えていると思う。

それから、仮にじゅんかい君を赤池や、あるいは徳重へ行けるといいのかもしれないが、何が起きるかという、町内を回るバスが激減することになる。赤池に行くことで非常に時間かかり、今は1時間に1本ぐらい回る町内のバスは、おそらく2時間に1本、あるいは3時間に1本になってしまう。それが本当に町民の方々にとっていい状態なのかどうか。それから住民の方々が本当に赤池行くかということもある。お年寄り方がどこへ行っているのか、そういうことも踏まえながら、そして町全体としてよくなる絵を描いていかないといけないと思う。

ただ、一方で駅に行きたいというニーズがあるのは事実で、皆さんのバランスを考え、他の交通手段も一緒に考えながら検討していければと思う。

【委員】

利用実態の資料の説明の中で、全便を通して4人という区間はないという話でしたが、実はタクシーは4人乗りの車だけでなく、いわゆる乗り合いタクシーというようなもので、ハイエース等の車を使った10人乗りのタクシーもあるというところも、少しご理解をいただきたいと思う。

先ほど会長からもご指摘いただいた、デマンド交通とは一体何かということが、果たして皆さんがよくご存じかどうかということは、私どももよく分からない。要するに、いろんな方法が考えられるが、フルデマンドはドアツードア、戸口から戸口。また、一定の所まで出てきていただいて、一定の所まで行っていただくもの。いろいろなデマンド交通、こういう仕組みがあるのも事実でありまして。それは需要の多さだとか、利用勝手の問題で車両を選択する。

それから、11月27日に名古屋の交通系のタクシーの活性化協議会が予定をされており、その中では、地域の交通に貢献するタクシー、タクシーが地域の皆さま方はどういう使い方ができるのか、または役に立っていくのかを自治体の皆さまを中心として、これからタクシーの提案をより可能にしていくことを考えている。

バスに乗りたくても乗れない方がいる。これは、じゅんかい君のエリアであろうとなかろうと、一定の規模、需要の多い少ないではなく、本当にバスに乗れない人をどうしていくかという視点も大事だということを踏まえて、これからいろいろなタクシーの方も対策を進めていければと思う。

それから最後、1点だけ、これはお願いですが、町づくりの中で、交通結節点の整備について、タクシー乗り場の整備をお願いしたいと思う。

【会長】

デマンド交通等というのは、タクシーも含めていろんな形態が考えられると思うので、いろいろ情報提供いただきながら、みんなでいい仕組みを考えられたらと思う。それからタクシーの乗り継ぎのところについて、明確にはタクシーという表現がないが、その辺いかがですか。

【事務局】

乗り継ぎにつきましては、路線バス、じゅんかい君、タクシーも含めて考えていきたいと思う。

【会長】

これからいろいろな支援の計画等があると思うが、そのときにタクシーもぜひ忘れないようにしていただきたい。最近は災害が多い、そのときにいつも感じるのは、最後はタクシー。タクシーが地域にあるのは生命線だと思う。そういう意味では、共に育てていかないといけないことをぜひ意識してほしい。

【委員】

資料4に、将来的なセントラル地区の整備という形で記載がある。路線バスに大きく期待をされていることを感じるが、この中に新しく、弊社の担当は豊田方面、日進方面、赤池方面のバスが現在運行しております。今後、調整をしながら、どう対応できるのか。豊明方面や徳重方面については、豊明方面でいきますと、今、知立方面に運行しておりますが、豊明方面について新たな路線も、計画されているというイメージ。それから徳重方面についても、新しい路線を引かれるというイメージだと思うが、将来的なイメージということで理解してよいか。

【事務局】

資料の4の図につきましては、下にもありますが、東郷町エコまちづくり計画（平成26年3月）の中の引用で、資料の意味合いとしては、路線バスの整備によってこういった交通網ができるようなイメージと捉えていただければよい。これに基づいて具体的なところまでは、この計画の中では言い切れない。目標として、と捉えているが、集約拠点、交通結節点が必要であるという根拠の部分として使っている。

【会長】

目標でもなく、完全にイメージということで。エコ町としてのイメージという理解でいいと思うが。

【事務局】

将来像を共有できるようなイメージということで。

【会長】

要は拠点としていろいろな所につながるようにしたいということ。そして具体的にどういうふうにしていくかは、この場でまた皆さんといろいろ議論していければと思う。

【委員】

基本方針の下から2つ目で、このデマンド交通等への期待というのは、今後非常に重要なポイントだと私は思う。下から2つ目、利用の少ないバス停、エリアについては、という修飾語句が付いているが、このデマンド交通等の活躍を限定的に捉えるのではなくて、今後高

齢化が進む、それからどんどん新しい商業施設がつけられ、町の様相がかなり変わっていく中で潜在的な需要というものがかかなりあると思う。対象エリアを制限するのではなく、幅を持たせた表現を用い、そこへの新たな需要、潜在的な需要への配慮も含めた上で、デマンド交通等への変更を検討するというような表現にされたほうが、可能性が広がると思う。

【会長】

ここに書かれているのは、空間的な住み分けをしようということ。一方で、今までご意見いただいた中で、実はバスに乗れない人が出てきている。だから、このデマンド交通という位置付けをどちらにしていこうかということだと思う。確かに今、バス停まで歩けない方々がどんどん増えてきている可能性が十分ある、現状でもいるかもしれない。そういう方への交通手段の確保が望まれている。

一方で、空白地とそうでない地域、あるいはより効率化していくことによって、結果、空白地になる所への対応と、この2つの対応が求められる。今言われたような形で、このデマンド交通の表記を、より広域の運行のためではなくて、いわゆるバスに乗れないような方への対応も含めた表記にはいかがか。

【事務局】

今の表現だと、限定的な表現に捉えられるので、もう少し将来的な活用の幅も検討しつつ、訂正していきたいと思う。

【会長】

そうすると、利用の少ないバス停エリアについては、という言葉は、削除するということが。直接的に書くのも1つの手だ。バスの利用が困難な方のための運行、デマンド交通と。ただ、福祉的な意味合いが強くなるので、福祉との調整も必要だと思う。どこまでを公共交通とするか。ただ、そうなってくると、利用者を絞っていくという可能性がある。利用者を絞らないと、今度、タクシーと何が違うのかと。そこは難しい点だと思う。

【委員】

他の自治体でも積極的にデマンド交通を取り入れていて、まさしく交通弱者、バス停まで来られないような方、または、そもそもバスに乗るのが困難な方も外出機会を促進しましょうというような取り組みがある。デマンド交通は、現状、タクシーがフルデマンドである。便利なデマンド交通をつくることによって、既存のコミュニティバスや路線バスに、昔は頑張って乗っていた人が利用されなくなるというケースも出てきかねない。このデマンド交通は、こういう目的でこういう方を運ぶために行う、と目的をはっきりさせた方がよい。

一方、タクシー、路線バス、コミュニティバスの目的をはっきりさせて、明確化させた上でやらないと、どんどんお互いの利用者が減り、全体的に疲弊してしまうという結果になる

と思う。

【会長】

そのとおりだと思う。文言としては2つ。1つは、統一化するので、空白エリアであれば空白エリアに対応するデマンド。一方で、バス停まで歩けない方も出てくる可能性がある。それに対する対応というのもここに含めたいということで。文言は事務局で考える方向でよろしいか。

とはいえ、全部が公共側でやるのではなく、役割分担、住み分けはしっかりし、もっというと、共に連携して、共に共栄していく絵を描くということが大事かと思う。

【委員】

諸輪地区ですが、基本方針の下から3つ目に、公的負担金の軽減を図るよう、適切な運賃体系とするとある、資料の中で乗車人員の23パーセントぐらいがお金を払い、あとは無料である。つまり、中学生以下の通学、65歳から無料の方がほとんど利用している。結局、交通弱者の人が利用しているので、じゅんかい君の役割についてその辺を考慮してもらいたい。

ただ、利用者の不便さとしては、やはり便数の少なさだと思う。これは便数を増やしたり、もっと遠くまで行こうとなると、負担が増えるので、その辺の兼ね合いが大事だと思う。なんにしても、交通弱者のためのものとしないと難しいのではないかな。

【会長】

交通弱者のためのものではあるが、その交通弱者のための乗り物だから、運賃体系は見直してはいけないということか。

【委員】

そういうわけではない。

【会長】

役割の中での見直しを、やればよいということですね。現状23パーセントが有料乗車で、あとは無料、その中でどういう路線がいいのかは、利用者の方によって違って来る。そういう方の生活を支えるようなじゅんかい君にこれからもなってほしいと思う。

【委員】

これは基本方針に入れるほどの話ではないが、今後バスの路線、またはラインを組んでいくに当たり、今、運転手が非常に少なく、労務環境を非常に厳しく見ている部分もある。よくあるのが、ダイヤ上では休憩が取れるようにはなっていない、実際は渋滞等で休憩がほと

んど取れていない。運転手は休憩も取らずに延々とバスを運転していて非常に危険というようなケースが散見されている部分がある。

冒頭、会長からお話がありましたように、大規模商業施設ができて、当然すさまじい渋滞も大いに考えられる。ですので、ダイヤ上、または人員、運転手の配置などにつきましては、渋滞などを考慮したものをお願いしたい。結果的に余裕を持ったダイヤ、また余裕を持った人の回しにするのか、また商業施設、時がたつとまた渋滞も解消されるので、それに伴ってまた運用を変更するなど、柔軟な設計をしていただいて、運転手の休憩も十分取っていただくようお願いしたい。逆に、運転手の労働環境が非常に悪いと、なかなか運転手の担い手もいなくなって、請け負っていただける事業者もなくなるということも、まれにあるので、その辺も含めて、無理のない設計をしていただきたい。

【会長】

そのとおりですね。例えば、一番最後に、可能な限り定時運行ができる安全な運行に留意したルール、となっているが、ルールとダイヤにはいかがか。そういうダイヤの決定、すごく大事だと思う。それでよろしいですか。ここ、ダイヤを入れさせてもらいます。ありがとうございました。

【委員】

今、高齢者の移動支援というのは、非常に大きな課題になっている。福祉サイドとしても、今行っているのは、例えば1人暮らしの方であるとか、車を持たない75歳以上の方、こういった方には、障害者も含めて、タクシー券の助成をしている。そういった交通弱者に対して福祉サイドがすべきこと、あるいはこういった公共交通ですべきこと、そういった住み分けができると、互いに情報交換しながらリカバリーできればいいと思う。

【会長】

まさにそのとおりだと思います。ちょうど境界が今、すごくあいまいになりつつある時代だと思うので、今まで以上に連携進めていただきたい。

【委員】

去年、国交省の第三者評価で指摘されたことの1つに、乗り継ぎ拠点の話があった。今、いこまい館が乗り継ぎ拠点となっているが、今後、セントラルが乗り継ぎ拠点となると、その2つが近いので、セントラルのほうに乗り継ぎ拠点を移していいのか、いこまい館が乗り継ぎ拠点にならないのか、そのあたりを整理してほしいという話があった。

もう1つ、その2つを両方とも乗り継ぎ拠点にする考え方もあると思うが、ダイヤを合わせるには、セントラルのほうに合わせれば、当然いこまい館も合わなくなるというようなことが起きる。もしくは、ずっと並走していくこともあるのかもしれないが、整理が必要だと

思う。いこまい館の取り扱いをどうするのか聞きたい。

【事務局】

現時点で取り扱いを明確にというのは難しいが、いこまい館への需要は、現在ある。いこまい館に行く方と、バスターミナルに行く方が一致してるとは限らないと思うので、現在のご利用を維持しつつ、バスターミナルへの乗り入れを考えるのであれば、それぞれを両立させる方法を、まずは考えなくてはいけない。

ただ、物理的に困難な部分があると思うが、現在と同じだけの水準が確保できるかどうかはわからない。理想の話になってしまっているかもしれないが、それぞれ別の目的で来る方がいる場所だとは思っているので、片方に寄せてしまうことで、現在乗る方が不便になってしまうということは避けないとはいけないと思う。

【会長】

いこまい館を全くなくすわけではないということでもよろしいですか。先ほど委員も言われたように、高齢の方が多くなると、実はショッピングセンター行くより、いこまい館のほうがいいのかも。ただ、今のところ、全部をセントラルのほうに移すという意向ではないということ。

【委員】

今ここで検討している今後の基本方針について、やはり公共交通としての使命と、それからデマンド方式の使命、それから福祉の交通手段の使命を組織分けして今後進めていかないと、くしゃくしゃになってしまう。以前ある病院まで多くの患者が通っているから、そこへじゅんかい君で行けるようにしてほしいという要望を受けたことがある。それで、地域の方に月に何回乗り、何人の方が通うかアンケートを取ってほしいと伝えたら、その後一切、そこで乗り入れについて言わなくなった。だから皆さんの言うことの全てを聞くわけにはいかない。こういうことも考慮して、使命の仕分けをしっかりと考えてやっていただければと思う。

【会長】

数で捉えることは重要だと思う。ニーズ、客観的な数字、それぞれの手段において役割分担をしっかりとしてほしいということなので、意識しながら進めていきたいと思う。

まだ基本方針で、かつ、町民アンケートの結果によっては見直す部分も出てくるという前提で、一番最後から2番目のこのデマンド交通に関しては、利用できないバス停エリアにのみ限定とするわけではなく、公共交通、特にバスになるかと思うが、バス停まで歩けないような方なども対象とする広がりを持たせる表現に修正する。それから一番最後に関しては、ルールと交通ダイヤにするという、この2点を、特に1点目の修正に関しては事務局に提案

をまたいただきたいと思うが、そこを修正するという前提でご承認いただいたということ
でよろしいか。

【委員】

(異議なし)

【会長】

それでは、私のほうも確認させてもらうので、ご一任いただければと思う。ありがとうございました。

続きまして、次の議題に移りたいと思います。議題(2)東郷町巡回バス路線再編に係る町
民アンケート(案)について事務局からご説明をお願いします。

(議題(2)東郷町巡回バス路線再編に係る町民アンケート(案)について事務局より説明)

【会長】

ありがとうございました。これをもとにいろいろ検討していくので、これで十分かどうか
も含めてご意見いただければと思う。交通網形成計画の中間評価にアンケート結果は使う
のか。

【事務局】

共通するものがあれば活用していきたいと思う。

【会長】

ただ、再編後何もやってないので、今中間評価やってどうかところもあるが、一応、中間
評価するのであれば、月2、3回以上利用してる人の割合、バスの不満割合を目標値に掲げ
てたので、加えてもいいのかもしれないが、特に大きな改善等々行ってないので、その辺、
検討いただきたい。交通網形成計画のほうで中間評価やるかどうかも含めて確認いただ
ければと思う。

【委員】

問4の3番で、いわゆるデマンド交通ということで、アスタリスクで注意書きが付いてる
と思うが、これは間違いではないが、この1行目の後ろから、目的地を効率よく回るル
ートを毎回設定し、と書いてあり、デマンド交通の定義はいろいろあって、これに限定すると少
し利用者の方も戸惑いや間違った認識を与えると思う。

デマンドの定義でも、乗り継ぎポイントをつくってそこを定時で回っていくものもあれ
ば、また定時でないものもある。一番のデマンドはフルデマンドだが、非常に便利なものは

できる一方、お金もかかる。どういうデマンドにするかは、これから皆さんで考えていただければと思うが、これだと間違った認識を与えてしまうと思う。

【会長】

勘違いされないように、あと限定的な書き方をしないような表記に修正いただけるか。

【委員】

まず問1の丸4、免許の保有のところで設問されているが、ここで免許返納者について全く触れてない。免許返納者について、返納の意思がある人、もしくは返納を既にしてしまった人など聞くとよい。

問3で、大規模病院に行く頻度と交通手段になっているが、大規模病院に限定した理由が何かあるのか。大規模病院は、どちらかというところ、ある特定の病気になった人が行くので、頻度はさほど高くないと思う。また、行き先について、基本的に大規模病院はどこへ行くかとしか聞いてないが、利用者の方は病院に行くだけではないと思うので、どこへ行くかをなぜ聞かないのか。よく使う高齢者や交通弱者の人、私たちが考えているとおりの行き先に行っていない可能性もあるので、そこは1つ確認しておく必要があると思う。

【会長】

まず免許返納者についていかがでしょうか。

【事務局】

免許返納については、問1の丸4の中で、選択肢として設けてもいいと思うが、別にしたほうがよいのか。免許返納の意思があるかどうかを確認するのであれば、設問を分けたほうがよいと思う。確かに対象から外れているということはあると思うので、もう既にした人という項目を付け加えることで、どなたも取り込めると思う。返納意思があるかどうかは、現状の把握という意味では、今のじゅんかい君の状況では返納できるということを確認することが十分にしていないので、別の質問として入れてもいいと思う。

【会長】

要は量による。入るのであれば入れて、かつ、どういう条件が整えば返納をするつもりかと聞けるといいと思う。実はじゅんかい君で行ける、ではなく、高いレベルを要求されるかもしれない。

それから、なぜ大規模病院だけにして、他の所は聞かないのかということですが。

【事務局】

大規模病院という部分については、藤田医科大学病院をじゅんかい君の目的地とする検

討をしているところもありまして。町内の中にそういった病院はないので、現在、町で大きな病院にかかる場合の交通について、苦慮している現状があるのか、ニーズがあるのかを捉えたい。

【会長】

これは、どれくらいニーズがあるかを調べたいということ。これはこれで採るとしても、それ以外に他にも行きたい所はあるはずなので、それも別途聞いたらどうか。

【事務局】

その他の行き先を制限しようという意思はないので、現在、どこに行きたいかを聞くことはよいと思う。

【会長】

そもそも公共交通でどこへ行きたいかというのを聞こうと。ちなみに、昨年の日進市の調査で、病院に行く頻度と買い物施設に行く頻度って調べたが、圧倒的に買い物施設が多い。この辺は残念ながらないが、一番通っているのは温泉施設。温泉施設があると、皆さん病院ではなく温泉に行く。すなわち、目的をつくってそこに運んであげないといけない。今回そういう意味で、東郷町の高齢者が、実はどこに行っているか調べるといいと思う。

【委員】

問1の7について、今は12地区指定されているが、このアンケートを取る戸数はどれくらいか。

【事務局】

総数では4,000通を送付する予定で、エリアに関しては、分母の世帯数のことも考えて、ある程度地区を考慮しつつ、無作為にアンケートを採る予定でいる。

【会長】

単純に考えて、4割返ってくると1,600ぐらいが返ってくる。

字で集計すると、もちろん人口にもよるが、100票前後は集まってくるかと思う。この字ぐらいでの集計であれば、大きく個人の意見だけで変わることはないと思う。

【委員】

2点お聞きしたい。1点は、先ほどの基本方針の中で、公的負担金の軽減を図る適切な運賃体制を取る運賃の問題があった。適切な運賃体制が一体どういうところなのか、利用者ではなく、できれば町民の一般的な方から聞いた方が適切な案が出てくるのではないかと。利用

者にとっては安いほうがいいが、使わない人によっては、税金の使い道としてはどうかというところが出てくると思うので、どこでどう把握される予定なのか聞きたい。

それからデマンド交通について、こちらも運賃を探った方がよいと思う。じゅんかい君と同等の運賃レベルで望んでいるかどうかを聞いておいた方が後々のためになると思う。

【事務局】

運賃についてのご意見は、平成 27 年度に策定した現在の交通網形成計画策定時にも聞いていて、他の質問の数も多いので、今回は前の結果、ある程度の値上げについて、無料対象者の見直しというところで意見はいただいている、その直近の意見があったので、現時点では、なくてもよいと考えた。

デマンドについては、特に運賃のことをここでは読み取れないので、支払金額、無料か有料か、今の巡回バスと同じ金額なら使うか、そういった設問などを考えて、デマンドに対してどの程度なら利用するかという意向について聞く必要がある。デマンドの料金設定についても意見をもらっておかないと裏付けがないということであれば、聞かないといけないと思う。

【会長】

税負担は 2 年前に聞かれているということなので、そこから大きく経済状況に変化がなく、それが十分参考になると思うので、あえて加えなくてもいいと思う。

それから、デマンドに関しては、正直なところ答えづらい。この会議の委員の方はまだ分かっていないが、これ選択肢見て事前予約と書いてあり、どういう事前予約なのか、回答者は全然分からないと思う。抽象的であるなら、さらに抽象的に、また選択肢をもう少し増やして、いろんな意向が捉えられるような形にすべきだと思う。これに関してはもう少し検討いただくといいかと思う。運賃、デマンドの形態、乗り合いの形態等々含めて、もう少し詳細に意向が伺えるような形にシフトするよう検討するという事。

そういう意味では、公的負担金の軽減を図る適正な運賃体系とするところの是非を問おうとしているが、まず答えようと思う人たちが、これの背景を全く分かっていない。この会議の委員は説明を受けているが、町民側からしたらアンケートを見ても全くなんのことも分からないと思う。よくわからないから反対、となる可能性はある。非常に危険な設問だと思う。この一個一個の方針を聞くのではなく、例えば選択肢として、巡回バスもセントラルに入れるのがいいか、あるいは今までどおり、いこまい館がいいか、あるいは駅に入れたほうがいいか。運賃のシステムも、より税負担を減らすために運賃を上げたほうがいいか、あるいはよりサービスを高めるために運賃を下げるか、一般論的に選択をしてもらうほうがよいのではないかと思う。

【委員】

今回のアンケートの目的は、じゅんかい君の路線の再編にかかる町民アンケートについて、設問を見ていくと、確かに交通手段は確認できる。

また、属性のところ、問1の丸6のところでは、この1年で利用した公共交通に丸を付けてくださいと。恐らく、全部に丸をしても構わないということになると思うが、ただ、せっかく4,000人の方をアンケートで、後でこれを集計するときに、日常的にじゅんかい君を利用する方なのか、あまりじゅんかい君を利用されない方なのか、そのあぶり出しをする設問がないので、属性のところの中で、普段のじゅんかい君の利用頻度について聞かれる設問を1つ設けると、あとのクロス集計のときに参考になる部分があると思う。

【会長】

おっしゃるとおりです。それは実は中間評価で、先ほど言いましたバスの利用頻度、路線バスを月に数回以上使っているか、あるいはじゅんかい君を月に数回以上使っている割合を出すことになるので、そういう意味でも、何をどれぐらい使っているかの質問でよいと思う。

【委員】

2件確認したい。まず1つ目は、このアンケートで用いる書式構文とまた別で用意されるという前提でお聞きするが、このアンケートの目的や趣旨を配布される時に付ける予定かどうか。このアンケートするに当たって、アンケートでは聞くということよりも、こうしたいということを伝えるものにもなる。東郷町が自分たちがどのように考えて、公共交通に対してどのように考えているということを訴えつつも、皆さんにこの分でお聞きしておりますということが伝えられるような形で、趣旨というか目的を別途明記したものを付けたほうがよいと思うがいかがか。

もう1つは、この質問項目のうち、問2の丸4、鉄道駅へのアクセスについて、この質問内容が、その鉄道駅はどのようなアクセスが望ましいかということですが、この質問項目だけを見ると、東郷町が考えている鉄道駅のアクセスがじゅんかい君だけのように見られる可能性がある。

【事務局】

1つ目の、アンケートに際して添付する書類ということで、こちらに関してはご指摘のとおり、目的などを合わせて送付していきたいと思う。

次の問2の設問に関して、これはじゅんかい君によって鉄道駅にアクセスしたいという人の希望を捉えたいので、じゅんかい君を前提とした設問がどうしても並んでしまうが。それ以外の選択肢がないことについて、別の意図で捉えられる可能性があるというのであれば、他の現存する公共交通機関の選択肢も加えて、例えば自家用車、タクシー等も書けるような形のほうがいいかと。むしろ、問1の交通手段という一様に書けるような選択肢もある

ので、そちらを入れたほうがよいかと思う。

【会長】

ご指摘いただきありがとうございます。アンケートはいつ発送か。

【事務局】

11月の中旬ぐらい発送し、下旬ぐらいをめどに回収という予定でいる。

【会長】

あまり時間ないが、せっかく4,000人とするので、完成度を高めたい。今週までにお気付きの点があれば、事務局までご連絡をお願いしたい。

アンケートにいくつか修正がある。返納の意思、そもそも何をどれぐらい利用しているのか、それから駅へのアクセスについては他の交通手段を含める。それから公共交通を利用してどこに行きたいのか、あるいは行っているのか。また、デマンドの表現の修正し、デマンド交通については、運賃等々も含めてもっと幅広く書く。基本方針については、直接的に聞くのではなく、違う形での意向を確認するという事で修正する。

この後、今週末までに意見があれば、もう皆さんにご確認する時間はないので、事務局と私のほうに一任していただきたい。そういう形で修正して実施することよろしいか。

【委員】

問1の丸6について、やはり回数、何回乗ったか、各月で何回乗った、何回以上とかいうのを書いていただくとよろしいかと思う。

【会長】

ありがとうございました。

以上で予定の議題は全て終了いたしました。

以上